

## 地震時の心得10ヶ条

<b>1 ます身の安全を!</b>  ケガをしたら火の始末や避難が遅れてしまいます。家具の転倒、落下物には十分な対策を。	<b>2 すばやく火の始末</b>  揺れが収まったらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。	<b>3 戸を開けて出口の確保</b>  震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。	<b>4 火が出たらすぐ消火</b>  万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。	<b>5 あわてて飛び出さない</b>  飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。
<b>6 狭い路地やブロック塀には要注意</b>  ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく広い場所へ避難を。	<b>7 協力し合って応急救援</b>  地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。	<b>8 山崩れ、がけ崩れに注意</b>  居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。	<b>9 避難は徒歩で</b>  マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。	<b>10 正しい情報を聞く</b>  事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

## 浸水時の避難の注意事項

浸水時に避難する際は、水で足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。いざという時、どこへの道を通って避難するのか、ふだんから確認しておきましょう。

 非常持出し品は少なくする。	 火の始末、戸締りを忘れずに。	 ゴム長靴は歩きにくい、はきなれた底の硬い靴がよい。	 消防団や役所の指示に従って行動する。
 垂れ下がった電線に触らない。	 家族はロープにつながって避難する。	 水中のマンホールや溝に注意する。	 逃げ遅れたときは丈夫な2階建て以上の建物に避難。
 避難所までの安全なルートを事前に確認しておく。			

## 避難所リスト

いざという時、家族がどこへ避難するか決めておきましょう。

NO.	避難所	住所	電話
1			
2			
3			

## 情報伝達の流れ

市では、災害が発生もしくは発生のおそれがある場合には、右図のように情報を伝達します。大雨の際には、テレビ、ラジオ、インターネットなどで河川の水位情報や雨量、洪水警報などの情報を早くから入手し、早めの避難を心がけましょう。



いちき串木野市役所 農政課

〒896-8601 鹿児島県いちき串木野市昭和通 133 番地 1 電話：0996-32-3111 ファックス：0996-32-3124

# いちき串木野市

# ため池ハザードマップ

ひらやまいけ  
平山池

【平山池の諸元】  
堤防高：5.6m  
貯水量：2,500m<sup>3</sup>

## 大雨や地震のあとはため池の決壊に注意しましょう。



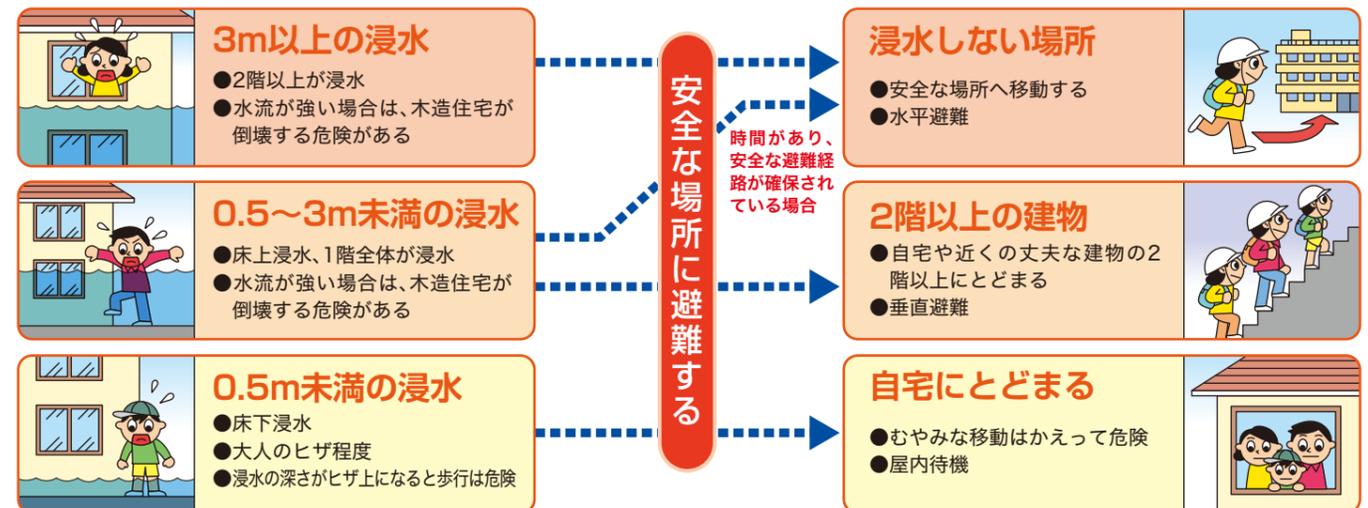
## 気象庁や市からの呼びかけ(避難情報等)に注意しましょう。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
<b>警戒レベル 1</b>	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)
<b>警戒レベル 2</b>	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報・大雨注意報等</b> (気象庁が発表)
<b>警戒レベル 3</b> 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> (市が発令)
<b>警戒レベル 4</b> 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	<b>避難勧告・避難指示(緊急)</b> 地域の状況に応じて緊急の又は重ねて避難を促す場合に発令(市が発令)
<b>警戒レベル 5</b>	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	<b>災害発生情報</b> 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(市が発令)

※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

## ため池決壊の恐れがあるときは速やかに避難しましょう。

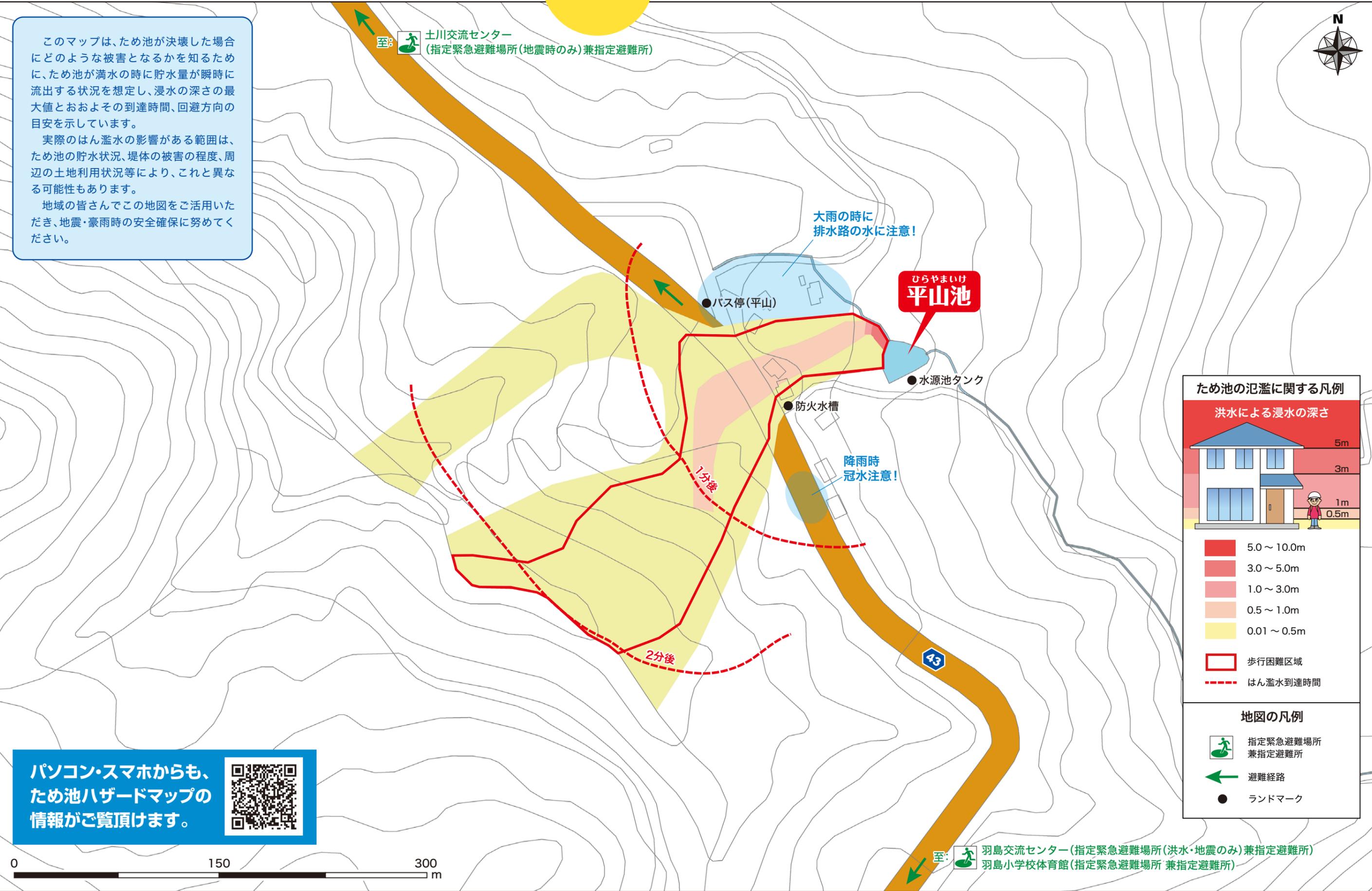
台風など豪雨が予想される場合は、事前に避難しておくことが大切です。また、大きな地震があった場合は「ため池が決壊するかもしれない」という意識をもって少しでも安全な場所へ移動するようにしましょう。



このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池が満水の時に貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、浸水の深さの最大値とおおよその到達時間、回避方向の目安を示しています。

実際のはん濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もあります。

地域の皆さんでこの地図をご活用いただき、地震・豪雨時の安全確保に努めてください。



ため池の氾濫に関する凡例	
洪水による浸水の深さ	
	5m
	3m
	1m
	0.5m
	5.0～10.0m
	3.0～5.0m
	1.0～3.0m
	0.5～1.0m
	0.01～0.5m
	歩行困難区域
	はん濫水到達時間

地図の凡例	
	指定緊急避難場所 兼指定避難所
	避難経路
	ランドマーク

パソコン・スマホからも、  
ため池ハザードマップの  
情報がご覧頂けます。

